

令和5年度「川通小教育活動のふりかえり」アンケート結果

学校アンケートへのご協力ありがとうございました。

(保護者アンケート回収率 91%)

以下、児童と保護者のアンケート結果の比較をまとめ、考察いたしました。

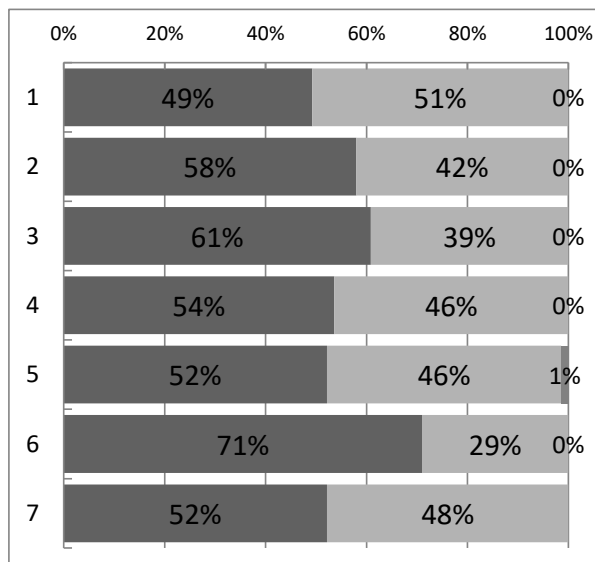
小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。また、1%に満たない数値が0%と表示される場合があります。

保護者と児童の「川通小教育活動のふりかえり」アンケートの比較

A：そう思う B：おおむねそう思う C：どちらかといえばそう思わない D：そうは思わない

☆学校・教職員の取組の姿から（家庭数で集計）＜保護者分＞

NO.	項目	A	B	C	D
1	学校は「思いやりのある子」「自ら学ぶ子」「たくましい子」の育成に努めている。	49%	51%	0%	0%
2	学校は、楽しい授業・分かりやすい授業づくりに努めている。	58%	42%	0%	0%
3	学校は、教育相談や個人面談をはじめ、悩み相談に対し、親身になってくれる。	61%	39%	0%	0%
4	学校は体験学習・探究的学習など、地域の特性を生かした教育活動を工夫し「生き生きと学ぶ児童」を育てている。	54%	46%	0%	0%
5	学校は、保護者・地域の方々と連携し、安全指導、いじめ防止などの推進に努めている。	52%	46%	1%	0%
6	学校は、学校公開や授業参観、学校だより・学級通信などにより、教育活動や子どもたちの様子をよく知らせている。	71%	29%	0%	0%
7	学校は、掲示物の工夫や施設・設備の整備など、落ち着いた環境づくりに努めている。	52%	48%	0%	0%

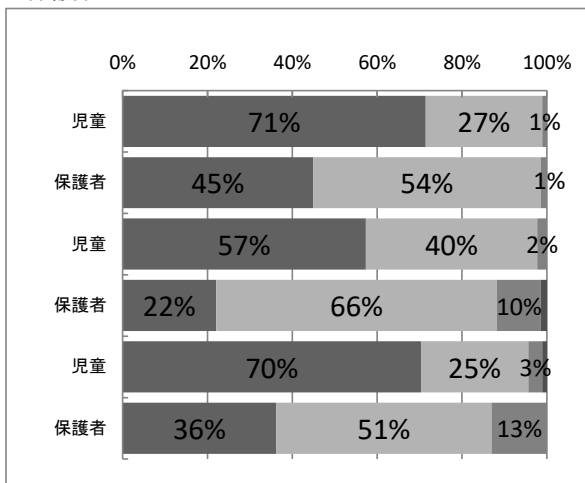


「学校・教職員の取組の姿から」では、すべての項目について、肯定的な評価（A・B）が90%を超えました。特に、項目3「学校は、教育相談や個人面談をはじめ、悩み相談に対し、親身になってくれている。」、項目6「学校は、学校公開や授業参観、学校だより・学級通信などにより、教育活動や子どもたちの様子をよく知らせている。」では、A評価が60%以上と高い評価をいただきました。今後も子どもたち一人ひとりに寄り添いながら保護者の皆様と連携したり、学校へ足を運んでいただくことで日頃のお子さんの様子や教育活動をご覧いただく機会を設けたりできればと考えております。

児童と保護者の共通項目での比較

☆学校教育目標からみた子どもの様子について 上段は児童・下段は保護者

NO.	項目		A	B	C	D
1	「思いやり」の気持ちをもって、学校生活を過ごしている。	児童	71%	27%	1%	0%
		保護者	45%	54%	1%	0%
2	自分から進んで学習している。	児童	57%	40%	2%	0%
		保護者	22%	66%	10%	1%
3	勉強や運動など苦しいことにも、あきらめずがんばっている。	児童	70%	25%	3%	1%
		保護者	36%	51%	13%	0%

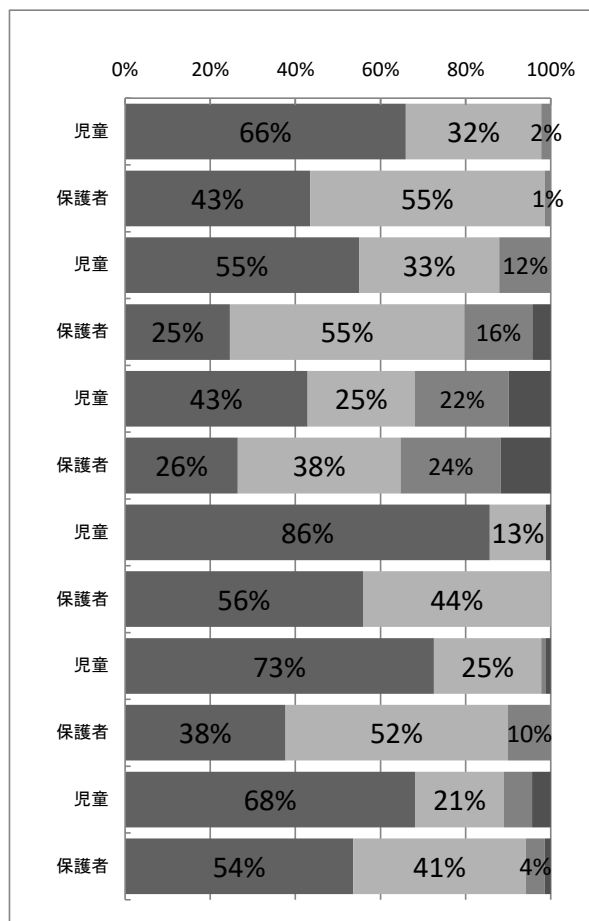


学校教育目標に関する上の項目では、児童、保護者ともに昨年度とほぼ同様の傾向ですが、保護者による評価では肯定的な評価（A・B）は、どの項目でも向上しました。また、項目1「思いやりのある子」、項目3「たくましい子」については、児童による評価で95パーセント以上が肯定的な評価（A・B）をしており、本校が目指す「子どもたち一人ひとりが活躍し、居場所のある学校づくり」の実現に向けた様々な取組（日ごろの授業や学校行事、たてわり班活動など）によって、豊かな心、健やかな体の育成に努めてきた成果であるとと考えております。ひとえに、日頃から保護者や地域の皆様の学校教育目標や教育活動に対するご理解とご支援あってこそです。今後も引き続きご協力をお願いします。

☆目指す学校像

「基礎・基本を身に付けた、心豊かな児童の育成」からみたお子さんの様子 上段は児童・下段は保護者

NO.	項目		A	B	C	D
4	学校で勉強したことが分かる。	児童	66%	32%	2%	0%
	学校で学んだことが身に付いている。	保護者	43%	55%	1%	0%
5	家でも毎日の学習をがんばっている。	児童	55%	33%	12%	0%
	家庭学習の習慣が身に付いている。	保護者	25%	55%	16%	4%
6	学校や家で進んで読書をしている。	児童	43%	25%	22%	10%
	進んで本に親しみ、読書好きな子に育っている。	保護者	26%	38%	24%	12%
7	友達となかよく遊んでいる。	児童	86%	13%	0%	1%
	友達となかよくしている。	保護者	56%	44%	0%	0%
8	家の人、近所、交通指導員さん、防犯ボランティアの方たちに自分からあいさつしている。	児童	73%	25%	1%	1%
	家や地域の中でよくあいさつをしている。	保護者	38%	52%	10%	0%
9	進んで運動（体を動かす遊び）をしている。	児童	68%	21%	7%	4%
	進んで運動（体を動かす遊び）をしている。	保護者	54%	41%	4%	1%



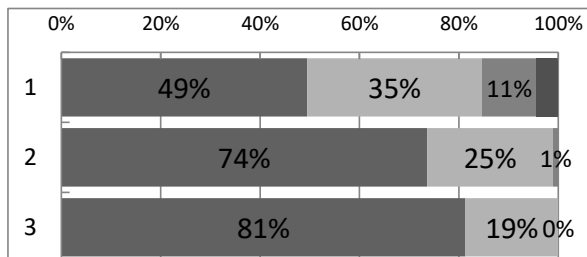
「目指す学校像」に関する項目でも、おおむね肯定的な回答が多くみられました。

項目8「あいさつ」についての肯定的な回答は、児童による評価が昨年度の92%から98%、保護者による評価が昨年度84%から95%へ向上しました。この「挨拶励行」については、学校運営協議会においても熟議を重ね、学校、家庭、地域でできる取組を考え、実践してきた成果の表れであると思います。引き続き本校では教職員による声掛けや、児童会によるあいさつ運動等を通して、明るく元気なあいさつができるように、指導してまいります。

項目6「進んで読書をしている」の肯定的な回答は、児童による評価が昨年度の73%から68%、保護者による評価が昨年度の72%から64%へ低下しており、読書離れの傾向があります。書籍や情報収集の在り方のデジタル化が進み、多様化してきた今、本校では読書タイムや学校図書館を中心とした読書を推進する取組の充実を図ってまいります。

児童のみのアンケート項目の結果

NO.	項目	A	B	C	D
1	先生になんでも相談できる。	49%	35%	11%	4%
2	先生はよいことやがんばっていることをほめてくれる。	74%	25%	1%	0%
3	安全に気を付けルールを守って登下校している。	81%	19%	0%	0%



項目1「先生に相談」、項目2「先生がほめてくれる」については、昨年度と大きな変化はありませんでしたが、項目1については、否定的な回答（C・D）が15%と相談できない児童も多くみられます。担任だけでなく、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さわやか相談員と連携し、子どもたちが安心して相談できる環境をつくっていけるように、教育相談体制の充実を図ってまいります。

項目3「登下校」は、A評価が81%と高く、すべての児童が肯定的な回答をしていました。子どもたちが自ら安全に気を付けルールを守る意識の向上は、日頃の保護者・地域の皆様のご指導のおかげだと考えます。引き続き本校でも、登校指導や一斉下校を通して、自ら安全を考えられる児童の育成に努めてまいります。